

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https://sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 石野 寛 (TEL) 0463(22)1233
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,148	—	544	—	614	—	389	—
30年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 360百万円(—%) 30年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	60.12	—
30年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、平成30年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年度四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	37,008	6,466	17.5
30年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 6,465百万円 30年3月期 一百万円

(注) 当社は、平成30年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成30年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期及び第2四半期までの実績はありません。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,320	—	840	—	890	—	240	—	37.01

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成30年10月1日に単独株式移転により設立されたため、対前期増減率はあります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	6,820,000株	30年3月期	—株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	336,844株	30年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	6,483,156株	30年3月期3Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。
2. 当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社サン・ライフの四半期連結財務諸表を引継いで作成しております。
3. 当四半期連結会計期間(平成30年10月1日から平成30年12月31日まで)は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は平成30年10月1日に単独株式移転により株式会社サン・ライフの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、以下の記述において前年同四半期と比較を行っている項目につきましては、株式会社サン・ライフの平成30年3月期第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）と、また、前連結会計年度末との比較を行っている項目につきましては、株式会社サン・ライフの平成30年3月期連結会計年度末（平成30年3月31日）と比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間売上高は前年同四半期比6.1%増の9,148百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

ホテル事業では、多様なご婚礼ニーズに応えるため、SNS・WEB広告を推進した結果、ご婚礼施行組数は増加しました。一方で、空調工事等の大規模修繕による施設の休館日等もあり、ご宴会、レストラン、ご宿泊の売上高は減少し、売上高は前年同四半期比0.6%減の1,673百万円となりました。

式典事業では、生前相談会、施設見学会・フェスタ開催等、お客様とのコミュニケーションを深める活動を推進してまいりました。ご葬儀1件あたりの売上高はご葬儀の小規模化の影響により減少したものの、平成30年4月には「サン・ライフファミリーホール大和」（神奈川県大和市）、平成30年7月には「サン・ライフファミリーホール小田原」（神奈川県小田原市）を開設し、前期開設斎場の順調な稼働もありご葬儀件数は増加し、売上高は前年同四半期比5.7%増の6,260百万円となりました。

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス品質向上に努めてまいりました。また、平成30年4月、住宅型有料老人ホーム「クローバーライフ厚木」（神奈川県厚木市）を譲受した結果、売上高は前年同四半期比25.6%増の1,000百万円となりました。

その他の事業では、サン・ライフメンバーズにおける会員解約手数料収入の減少もあり、売上高は前年同四半期比1.1%減の215百万円となりました。

営業費用は、式典事業における新規開設費用、介護事業における事業譲受費用及び組織再編に伴う不動産登録免許税等の増加もあり、前年同四半期比7.9%増の8,604百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同四半期比15.8%減の544百万円、経常利益は前期計上の匿名組合清算益がなくなったこと等により、前年同四半期比22.1%減の614百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比30.1%減の389百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は37,008百万円となりました。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し、37,008万円となりました。これは、預け金の減少等による流動資産の減少461百万円、土地の取得、建物及び構築物の増加等による有形固定資産の増加626百万円、のれんの増加等による無形固定資産の増加128百万円、その他投資その他の資産の増加等による投資その他の資産の増加282百万円があったことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し、30,541百万円となりました。これは、未払金及び未払法人税等の減少等による流動負債の減少421百万円、その他固定負債の増加等による固定負債の増加844百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、6,466百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円の計上と配当金の支払207百万円の結果、利益剰余金が182百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金の減少29百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績及び最近の業績動向等を踏まえ、平成30年10月1日の「平成31年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました平成31年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成31年2月8日公表の「連結子会社における繰延税金負債の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,049,951
売掛金	484,992
有価証券	706
商品	43,488
原材料及び貯蔵品	76,336
預け金	1,684,199
その他	501,293
貸倒引当金	△1,367
流動資産合計	12,839,600
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	6,827,656
土地	7,852,185
その他(純額)	799,993
有形固定資産合計	15,479,835
無形固定資産	
のれん	338,193
その他	419,446
無形固定資産合計	757,640
投資その他の資産	
投資有価証券	2,682,406
供託金	1,098,965
その他	4,188,958
貸倒引当金	△39,319
投資その他の資産合計	7,931,010
固定資産合計	24,168,486
資産合計	37,008,087
負債の部	
流動負債	
買掛金	632,550
未払金	311,453
未払法人税等	76,772
引当金	75,895
その他	793,769
流動負債合計	1,890,441
固定負債	
前払式特定取引前受金	26,940,165
引当金	57,617
退職給付に係る負債	97,688
その他	1,555,198
固定負債合計	28,650,670
負債合計	30,541,112

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成30年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	100,000
その他資本剰余金	761,914
利益剰余金	5,891,605
自己株式	△341,896
株主資本合計	6,411,623
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	54,193
その他の包括利益累計額合計	54,193
非支配株主持分	1,157
純資産合計	6,466,975
負債純資産合計	37,008,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	9,148,709
売上原価	6,997,909
売上総利益	2,150,799
販売費及び一般管理費	1,606,329
営業利益	544,470
営業外収益	
受取利息	8,219
受取配当金	12,605
前受金月掛中断収入	19,186
不動産賃貸収入	19,849
その他	38,348
営業外収益合計	98,210
営業外費用	
不動産賃貸費用	7,407
前受金復活損失引当金繰入額	17,435
その他	3,004
営業外費用合計	27,847
経常利益	614,833
特別利益	
損害賠償金収入	2,167
特別利益合計	2,167
特別損失	
固定資産除売却損	43,048
投資有価証券評価損	88,470
特別損失合計	131,518
税金等調整前四半期純利益	485,481
法人税、住民税及び事業税	89,337
法人税等調整額	6,456
法人税等合計	95,793
四半期純利益	389,687
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△90
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,778

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	389,687
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△29,563
その他の包括利益合計	△29,563
四半期包括利益	360,124
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	360,215
非支配株主に係る四半期包括利益	△90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年10月1日付で株式会社サン・ライフによる単独株式移転により設立されました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、その他資本剰余金が761,914千円、利益剰余金が5,891,605千円、自己株式が△341,896千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,673,031	6,260,635	1,000,035	8,933,702	215,006	9,148,709	—	9,148,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	168,389	129	229	168,748	20,283	189,031	△189,031	—
計	1,841,421	6,260,765	1,000,265	9,102,451	235,289	9,337,740	△189,031	9,148,709
セグメント利益又は 損失(△)	△63,510	1,396,647	32,522	1,365,659	61,389	1,427,049	△882,578	544,470

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△882,578千円には、セグメント間取引消去47,955千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△930,533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

介護事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては、151,293千円であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。